

ブロック名：画像診断(ブロック①)

月 日	曜 日	時 限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
7.17	火	I	画像診断総論 I 単純写真造影検査	宮川 国久	放射線医学	1. 胸部単純撮影の特徴を説明できる。 2. 造影検査の特徴を説明できる。 3. 造影剤の副作用について説明できる。	画像診断総論に関する教科書を読んで概略を理解しておくこと。
"	"	II	画像診断総論 II CT	北中 ゆき	放射線医学	1. CT検査とは何かを説明できる。 2. CT検査の欠点と利点を説明できる。	画像診断総論 II CTの講義資料に目を通しておくこと。
"	"	III	画像診断総論 III MR	藤川 あつ子	放射線医学	1. MR検査とは何かを説明できる。 2. MR検査はどうやって撮影するかを説明できる。 3. CTとMRの違いを説明できる。	CTよりMRIを撮影するメリットについて勉強しておくこと。
7.18	水	I	画像診断総論 IV 超音波	池田 裕隆	放射線医学	1. 超音波検査法の原理を説明できる。 2. 超音波検査法の種類を概説できる。	事前にアップロードされた講義資料に目を通しておくこと。
"	"	II	画像診断総論 V 核医学	岡田 幸法	放射線医学	1. 核医学検査の特性について説明できる。 2. 使用する放射性核種と放射性医薬品について説明できる。 3. 平面撮像と断層撮像(SPECT、PET)について説明できる。	核医学に関する教科書を読んで概略を理解しておくこと。
"	"	III	画像診断各論 I 胸部	松岡 伸	放射線医学	1. 胸部単純写真の正常像を説明できる。 2. 胸部CTの正常像を説明できる。	胸部の解剖を学習しておくこと。
7.19	木	I	画像診断各論 II 救急	松本 純一	救急医学	1. 救急診療における画像診断の役割を説明できる。 2. 代表的病態で用いる検査法を挙げられる。 3. 活動性出血を示唆する画像所見を説明できる。	緊急度の高い代表的救急疾患の概要を学習しておくこと。
"	"	II	画像診断各論 III 中枢神経	中村 尚生	放射線医学	1. CTとMRIの違い、使い分けが説明できる。 2. 頭部の簡単な解剖が説明できる。 3. 出血と梗塞の違いが説明できる。	画像診断総論の復習をしておくこと。
"	"	III	IVR総論 I	三村 秀文	放射線医学	1. 血管造影の手技を説明できる。 2. 血管塞栓術の手技を説明できる。 3. CTガイド下肺生検の手技を説明できる。	事前にアップロードされた講義資料に目を通しておくこと。
7.20	金	I	画像診断各論 IV 腹部	森本 毅	放射線医学	1. 画像検査の種類とその特徴を説明できる。 2. 主な疾患について所見を説明できる。	腹部臓器の解剖を勉強しておくこと。
"	"	II	治療総論 I	五味 弘道	放射線医学	1. 放射線の生物効果について理解する。 2. 放射線治療の利害得失について理解する。 3. 放射線治療の方法について説明できる。	日本放射線腫瘍学会のHP (jastro.or.jp) の放射線治療従事者を目指す方へページの放射線腫瘍医になろうパンフレットを読んでおくこと。
"	"	III	治療総論 II	"	"	1. 放射線治療の主な適応疾患を説明できる。 2. がん治療の中での放射線治療の役割について説明できる。	日本放射線腫瘍学会のHP (jastro.or.jp) の放射線治療従事者を目指す方へページの放射線腫瘍医になろうパンフレットを読んでおくこと。